

角田市ふるさと安心米生産組合 協議会の取り組みについて

角田市ふるさと安心米生産組合協議会
会長 三瓶 隆一

角 田 市 の 紹 介

宮城県南部に位置

西を蔵王連峰、東に阿武隈山脈

中央を阿武隈川が雄大に流れる



宮城県南初のカントリーエレベーター 角田市に令和3年9月竣工



生もみ2,100 t 貯蔵でき、自然風で乾燥
車両ごと計測できるトラックスケールは宮城県内初

角田市ふるさと安心米取り組み状況



(令和6年)

組織発足	平成 元年
栽培面積	618 ha
栽培組合	32 組合
参加農家	324人



安全安心を追及！

できるだけ農薬に頼らない栽培を基本に協議して栽培基準を決定しています。

環境にやさしい農産物認証制度 (特別栽培米第三者認証)参加

- ①化学農薬・化学肥料を一般的な栽培の5割以下に減らしている
- ②堆肥等による土づくり
- ③現地確認の実施



農水省新ガイドラインによる特別栽培米表示のほか、
宮城県知事認証（第三者）を毎年受けています。

こだわりの土づくり

角田市にある「農業の館」の堆肥、
土づくり資材の共同一斉散布を実施
しています。



栽培品種

ひとめぼれ・つや姫・ササニシキ・コシヒカリ・
みやこがねもち（5品種）

